

【特別授業】知っておきたい古典 その1

二人でたどる

「神・男・女・狂・鬼」

能の世界



辰巳 満次郎



大倉 源次郎

2024.9/25 [水]

16:00~17:30(受付開始15:30)

サラマンカホール 岐阜市藪田南 5-14-53

講師 辰巳満次郎 (シテ方宝生流)  
辰巳和磨 (シテ方宝生流)  
大倉源次郎 (小鼓方大倉流十六世宗家 人間国宝)

料金 全席自由 2,000 円 (サラマンカメイト 1,800 円)

定員 限定 100 名 発売日 7 月 12 日 (金)

「神・男・女・狂・鬼」の五つに分けられる能の演目。今回の特別授業は、能楽界を代表するお二人の分かりやすいお話と、謡、舞、小鼓の実演で、知っておきたい五つの代表的な演目を紹介します。装束や能面（おもて）を実際に拝見しながら、しばし幽玄の世界へ。美濃の国が舞台となる「養老（ようろう）」や「班女（はんじょ）」。「在原業平が「か、き、つ、ば、た」の五文字を句の上に置いて詠んだという語りから始まる情感あふれる「杜若（かきつばた）」。「鬼の演目「鶺鴒」では鶺鴒使いと閻魔大王の舞をご覧ください。最高の講師から学ぶ、これまでにない贅沢な講座です。

辰巳満次郎 シテ方宝生流能楽師

1959年神戸生まれ。父・故辰巳孝に師事し4歳で初舞台。東京藝術大学音楽学部邦楽科卒業。18世宗家故宝生英雄（ふさお）の内弟子となり、1986年独立。東京大阪間の東海道を中心に全国で公演や実技指導、普及活動を行うとともに、多くの海外公演も参画する。新作活動にも意欲的で、2018年と2021年にはサラマンカホールにて、「サラマンカ能」を演出・主演。パイプオルガンと舞う能舞「SALAMANCA」、能舞「SHISHI」を制作した。

2001年重要無形文化財総合指定の認定。2005年度大阪文化祭賞奨励賞受賞。（一社）日本能楽会会員。（社）宝生会会員。「七宝会」「満次郎の会」「巽会」「宝生流あまねく会」主宰。2020年（一社）日本芸術文化戦略機構（JACSO）を設立、現在名誉理事長。

主催：能楽鑑賞「焔の会」 共催：サラマンカホール

大倉源次郎 能楽囃子方 大倉流小鼓方十六世宗家

人間国宝。（公社）能楽協会副理事長。（一社）日本能楽会会員。小鼓方大倉流十六世宗家。1957年大阪生まれ。父十五世宗家大倉長十郎に師事。1964年独鼓「鮎の段」にて初舞台。1981年甲南大学卒業。1985年十六世宗家を継承。2017年に重要無形文化財保持者各個認定（人間国宝）。

大阪文化祭奨励賞、咲くやこの花賞（大阪市）、大阪舞台芸術奨励賞（団体）、大阪文化祭賞（団体）、観世寿夫記念法政大学能楽賞などを受賞。流派を越えて21世紀の能を考える「能楽座」座員。新作能、復曲能に数多く参加すると共に海外公演も多い（パリやニューヨークなど25か国で延べ30ツアー以上、45公演以上）。著書に『大倉源次郎の能楽談義』（淡交社）、『能から紐解く日本史』（扶桑社）、『能の起源と秦氏』（ヒカルランド）がある。

